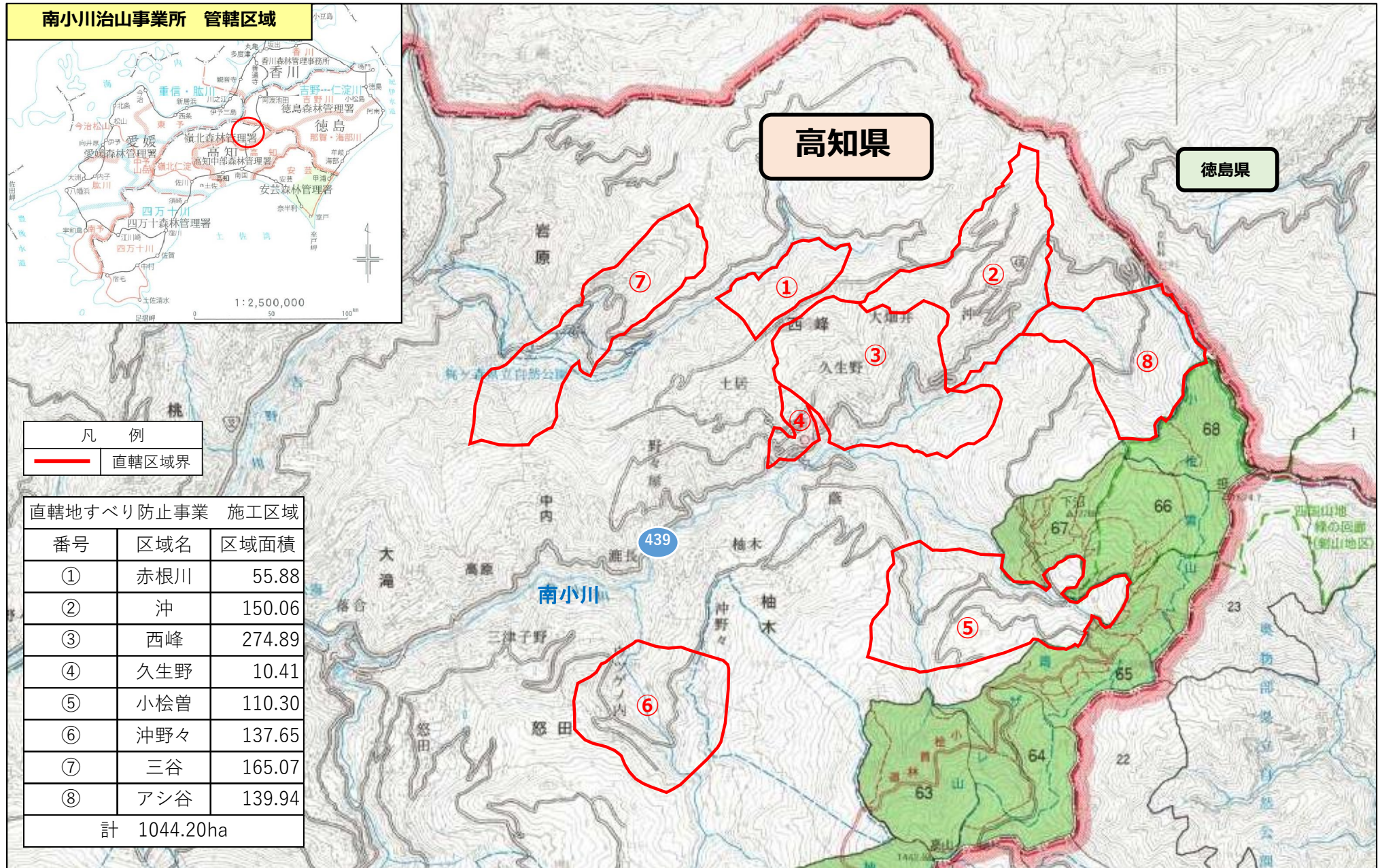


南小川地区 直轄地すべり防止事業（四国森林管理局）

当地区は、高知県大豊町の吉野川支流南小川沿いに位置し、急峻な地形で破碎帯特有の脆弱な地質構造を有するため、従来から豪雨等により地すべり等が多発していました。当地区の地すべり対策は、規模が著しく大きく高度な技術が必要とすることから、高知県等の要請を踏まえ、昭和39年に直轄地すべり防止事業に着手、その後も豪雨災害等に伴い地すべりが頻発したことから、地すべりの滑動状況に応じて施行区域を拡大し、各地域の復旧に取り組んでいるところです。

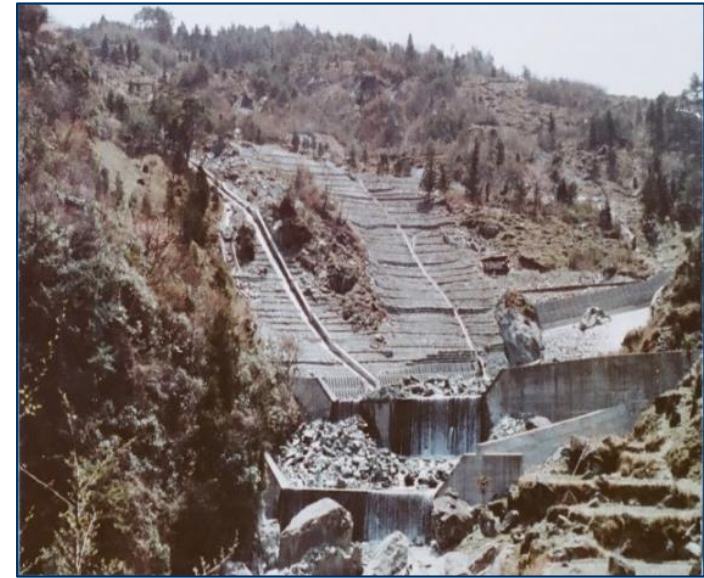


事業実施状況 沖野々区域

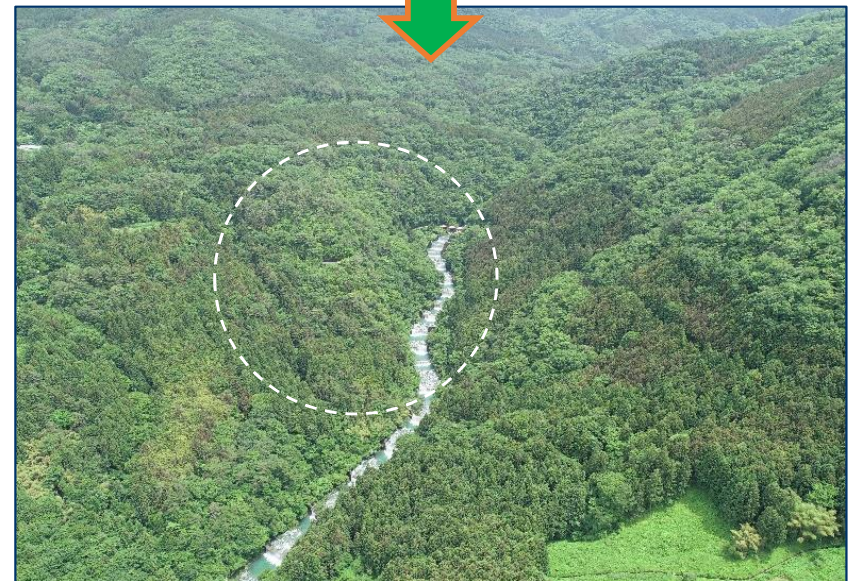


昭和 2 9 年 豪雨による被災状況

過去の集中豪雨により、地すべり活動が活発化、大規模な山腹崩壊や溪流の荒廃等が確認されたことから、復旧工事（谷止工、山腹工等）に着手しました。
現在では、溪流や森林の回復が確認できます。

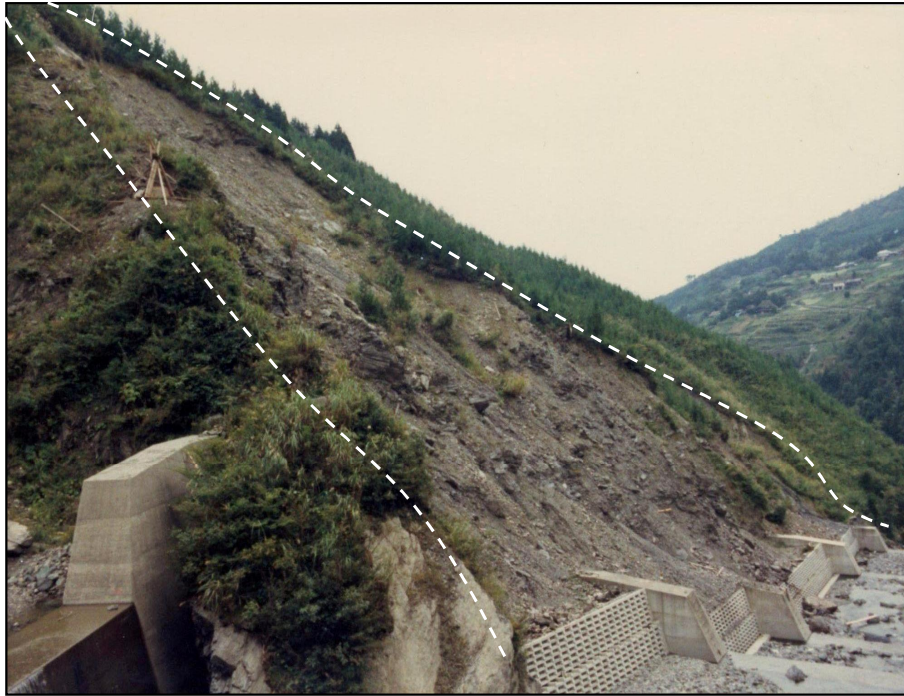


昭和 5 5 年 谷止工・山腹工施工状況



令和 5 年 現在の状況

事業実施状況 アシ谷区域



昭和49年 豪雨による被災状況

集中豪雨により、大規模な山腹崩壊が発生したことから復旧工事（山腹工）に着手しました。現在では、安定した森林へ移行したことが確認できます。



昭和51年 山腹工施工後



令和6年 現在の状況

事業実施状況 小桧曽区域



平成30年7月豪雨による被災状況

集中豪雨により、大規模な山腹崩壊が発生し、林道等が被災したことから復旧工事（山腹工）に着手しました。
現在では、植生の回復が確認できます。



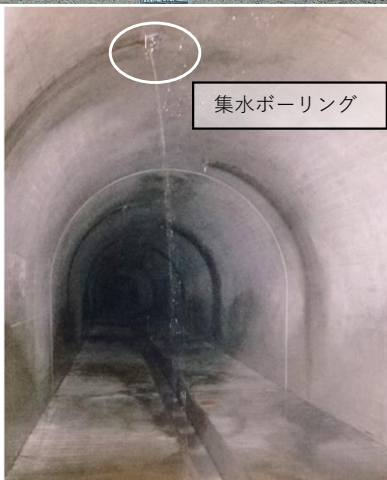
令和2年 山腹工施工後



令和5年 現在の状況

事業実施状況 沖区域

地下水排除工
(排水トンネル工)



排水トンネル工を地すべりブロックより深く安全な位置で施工し、坑内から集水ボーリングを施工することで、地すべりの原因である地下水の排除を行っています。

地すべりブロック

抑止工（アンカー工）



岩の中にアンカー（固定具）を打ち込み、それを引っ張る力で地すべりを安定させています。

地下水排除工（集水井工）



地すべりの原因となる、地下水の排除を行っています。

国道439号線

地すべりブロック

集中豪雨により、地すべり活動が活発化、地すべりブロック内では家屋や道路等にクラックが確認されたため、地すべり防止工事（アンカー工、排水トンネル工等）に着手しました。工事は完了し、現在では地すべり活動が沈静化しています。